

ずっと住みたい町

「いびがわ」の背骨づくり2024



平成26年度におきましては、昨年から掲げております「いびがわの背骨づくり」を基本テーマとしたうえで、「合併10年の総仕上げと未来づくり」に取り組んでいくこととしております。

平成26年度当初予算では、最重点施策として3つの柱を掲げました。

1つ目の柱は、「子育てしやすい子どもが元気な地域づくり」として、地域ぐるみで子育てを応援するとともに、未来を担う子どもたちの人間力の醸成を図ることとしております。

2つ目の柱は、「あらゆる災害に強い 安全な地域づくり」として、土砂災害や原子力防災対策などあらゆる災害への備えを強化し、安全な地域づくりを進めることとしております。

3つ目の柱は「人々が集い交流できる地域づくり」として、10周年という節目に行うべき取り組みを進めるほか、街並み整備やスポーツ・文化振興などにより、賑わい創出や観光交流の促進を図ることとしております。

これら3本の柱に加え、暮らしを支える生活基盤を充実させる取り組みとして、福祉・医療の充実や産業の振興などについても、引き続き進めてまいります。

このように、平成26年度におきましても、「ずっと住みたい町 いびがわ」の実現に向けて、町民の皆さまとの協働のもと、まちづくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

揖斐川町長 宗宮 孝生

平成26年度 揖斐川町重点施策

進級、進学、就職など、新しい年がまもなくスタートします。揖斐川町の1年のお金の使い方も決まり、新事業やサービスもスタートします。

今年、町はどのような仕事を行い、私たちの生活はどのようになるのでしょうか。

平成26年度の揖斐川町の重点施策を分野ごとに紹介します。

平成26年度当初予算

一般会計 137億円
(前年比プラス 1.6%)

21の特別会計 67億4,690万円
(前年比プラス 2.7%)

合併に伴う財政的な支援措置が、平成27年度から段階的に縮小されることを踏まえつつ、規模抑制に努めながら、今やらなければならない必要な事業を計上しています。

平成26年度は「合併10年の総仕上げ」と「未来づくり」

平成26年度は、平成17年1月31日に1町5村が合併をして、丸10年の節目を迎える年度です。ひとつになった町の軌跡をあらためて振り返りながら、未来のまちのあり方について考える大切な年でもあります。それには、地域間連携をより一層活発化させ、「オール揖斐川町体制」を確立すること、また、将来にわたり持続可能な地域となるための基盤を確立させることが不可欠です。そこで平成26年度は「合併10年の総仕上げ」と「新たな10年に向けた背骨づくり」として、3つの柱を重点施策として掲げ、加えて生活基盤を充実させる取り組みも進めていきます。



I. 子育てしやすい 子どもが元気な地域づくり 【8億9,400万円】

(1) 地域ぐるみで子育て応援 【6億円】

新規 病児・病後児保育の実施 【800万円】

- 平成26年4月から、揖斐厚生病院内に「揖斐川町病児・病後児保育所(仮称)」を開設予定
- 病氣中または病氣の回復期にある町内在住の幼児・児童(生後8ヶ月～小学3年生)を受け入れ

拡充 児童発達支援事業の充実 【3,082万円】

- 池田町と共同運営の「池田町ことばの教室」に加え、平成26年10月から福祉総合支援センター内に、児童発達支援事業所を新設
- 町内在住のことばや心身の発達に遅れがみられる幼児への支援

拡充 「留守家庭児童教室」の運営(揖斐、大和、小島、清水、北方、谷汲) 【1,497万円】

- 夏休み等長期休暇時の開始時間を30分早め、朝8時から運営

継続 「すこやかベビー祝い金」を支給 【550万円】

- 出産日以前に6ヶ月以上住民登録があり、出産後引き続き1年以上居住すると見込まれる方を対象に、出産祝い金5万円(出産子1人あたり)を支給



継続 18歳到達年度末までの医療費を無料化 【7,320万円】

継続 不妊治療への助成(年間10万円を上限)を実施 【100万円】

(2) 未来を担う子どもたちの人間力醸成 【2億9,400万円】

新規 「緑の少年団」活動による豊かな人間性づくり 【843万円】

- ・児童の豊かな人間性づくり及び平成27年秋に当町で開催予定の「第39回全国育樹祭」の開催気運を高めるため、全小学校において各々「緑の少年団」を結成、ユニフォームや団旗などを整備
- ・各団ごとに緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を実施するとともに、平成26年7月23日(水)～25日(金)に当町で開催予定の「第23回緑の少年団全国大会」において、全国の団員たちと交流

継続 小中学校の海外・県外交流派遣による豊かな人間性づくり 【1,046万円】

- ・中学生はアメリカ・ユタ州セントジョージ市と、小学生は北海道芽室町高知県宿毛市との相互交流を実施

継続 学習環境の充実 【1億5,805万円】

- ・小中学校の机及び椅子の順次更新、教室の空調設備整備の事前調査
小島小学校体育館屋根修繕、揖斐川中学校南舎防水改修 ほか
- ・スクール相談員の設置、少人数学級指導助手の設置、特別支援学級支援員の設置



II. あらゆる災害に強い 安全な地域づくり 【11億6,800万円】

(1) あらゆる災害への備えを強化 【1億4,900万円】

継続 万一の事態に備えた原子力防災対策の推進 【156万円】

- ・住民参加による避難訓練、モニタリング訓練、ヨウ素剤配布訓練など、県と連携した原子力防災訓練を実施
- ・UPZ圏内である坂内川上地区に、レスキューフーズ(非常食)3日分を配備
- ・原子力災害に関する出前講座の実施

継続 消防力の充実強化 【7,907万円】

- ・大深消防車庫新築、名礼地区防火水槽設置、川合地区防火水槽設置、消防積載車購入、消防ホース更新など、地域の消防力を充実強化

継続 公民館の耐震化 【1,040万円】

- ・地域の避難所でもある久瀬公民館について、耐震補強実施設計、補強計画を策定

継続 小型除雪機購入に対する助成 【400万円】

- ・町内の自治会又は個人が小型除雪機を購入する場合、経費の1/2を助成(上限20万円)

継続 土砂災害防災訓練(6月)、地震を想定した総合防災訓練(8月)の実施 【59万円】

- ・土砂災害ハザードマップを各戸に配布、災害への備えのために活用



(2) 災害に強いインフラの整備 【9億9,900万円】

継続 災害時の避難・緊急輸送ルートともなる幹線道路の整備 【8,154万円】

- ・国道417号「横山鶴見バイパス」、都市計画道路「大野揖斐川線」等、県による幹線道路の整備を促進

継続 毎日の暮らしに密着した生活道路の整備・補修 【4億2,123万円】

- ・重要橋梁の補修・耐震対策や藤の木街道等の生活通路の整備・修繕を推進

(3) 防犯と交通安全の地域づくり 【2,000万円】

新規 防犯灯のLED化 【562万円】

- ・町内の防犯灯を順次LED化していくこととし、平成26年度は藤橋地区(65基)、坂内地区(71基)の全ての防犯灯をLED化

新規 高齢者の運転免許証自主返納を支援 【2万円】

- ・運転免許証を自主返納した70歳以上の高齢者について、公安委員会へ「運転経歴証明書」の交付を求めた場合、交付手数料相当額(1,000円)を助成

Ⅲ. 人々が集い 交流できる地域づくり 【8億5,300万円】

(1) 合併10周年の取組 【2,100万円】

新規 新たな10年のまちづくり指針を策定【454万円】 <全体事業費：平成26年度～27年度 648万円>

- ・第1次総合計画が平成27年度末で期間終了となることから、平成26年度、27年度の2カ年で新たな総合計画を策定

新規 合併10周年記念式典の開催【351万円】

- ・合併して丸10年となる平成27年1月31日(土)に、記念式典を中央公民館で開催(表彰・記念講演など)

新規 合併10周年記念イベントの実施【1,099万円】

- ・合併10周年を記念するイベントとして、平成26年8月に「岐阜放送公開録音歌謡ショー」「清流まるケ」「いびがわの祭り」を一連にしたイベントを開催

新規 「第39回全国育樹祭」の気運醸成【150万円】

- ・合併10周年を記念するメインイベントでもある、平成27年秋の「第39回全国育樹祭」開催に向けて、町内の気運醸成のため、様々な啓発活動を実施

※新組織として総務部内に「全国育樹祭推進局」を設置



(2) まちのにぎわい創出と観光交流の促進 【4億9,300万円】

新規 (仮称) 地域交流センターの建設【1億1,033万円】 ※平成25年度2月補正予算 18億円

<全体事業費：平成25年度～28年度 32億8,483万円>

- ・東海環状自動車道 大野・神戸IC(仮称)からの流入を呼び込み、観光交流人口の増大を図るとともに、中心市街地のにぎわい創出を目指して、(仮称)地域交流センターの建設に着手

新規 谷汲緑地公園のリニューアル【1億1,574万円】

- ・町内外から訪れる家族連れの憩いの場として、谷汲緑地公園のリニューアルに着手
- ・拡張造成工事を実施するとともに、新たな施設整備については平成27年秋の「第39回全国育樹祭」開催後の実施に向けて検討

新規 町の中心市街地のまちづくりを検討【568万円】

- ・揖斐地区本町通りを中心とした町の中心市街地のまちづくりを検討するため、街並みの基礎調査等を実施

継続 観光資源のブラッシュアップと「西美濃夢源回廊」等を活用した誘客促進【4,293万円】

- ・西美濃夢源回廊協議会やNEXCO中日本などと連携した広域観光バスツアーの実施など、町内観光資源のブラッシュアップ、情報発信により、誘客を促進

継続 徳山ダムを周遊する水陸両用バス(名古屋駅発着：年6回)の観光ツアーを開催【508万円】



(3) 人口流出防止と移住・定住の促進 【3,500万円】

継続 人口流出防止と移住・定住促進のためのきめ細かな支援【1,550万円】

- ・【新築住宅への支援】 新築住宅建設等奨励金(基本額10万円、用途地域加算10万円)、新築住宅に対する固定資産税の減免
- ・【住宅改修への支援】 住宅改修等奨励金(基本上限額5万円)、住宅耐震診断無料実施、田舎暮らし住宅活用奨励金(改修：基本上限額10万円)
- ・【賃貸住宅への支援】 賃貸住宅家賃助成奨励金(基本上限額：月額1万円、1年間)
- ・【事業者への支援】 民間賃貸集合住宅建設奨励金(基本額：1戸あたり10万円)、分譲戸建住宅建設奨励金(基本額：1棟あたり30万円)、分譲宅地開発支援奨励金(基本額：1区画あたり10万円)

新規 町内での事業所開発促進による働く場所づくり 【270万円】

・町内に新築する小規模事業所に対して支援（基本額 10 万円、用途地域加算 30 万円）

※企業立地支援としては、製造業などの法人企業に対し、事業所新設又は増設に対する支援制度（投下固定資産税相当額の 1/2 を3年間）や、雇用促進奨励金制度（新規雇用1人あたり:正規 30 万円、パート5万円）がある



継続 田舎暮らし体験等による交流居住のススメ 【195万円】

・久瀬、藤橋、坂内の農山村地域において田舎暮らし体験事業を実施、交流居住につなげる

継続 町民の婚活を応援 【55万円】

・婚活支援として相談員（婚活・恋活コンシェルジュ）を配置、商工会青年部と連携して婚活・恋活イベントなどを開催

・平成 25 年度に引き続き、いびがわマラソンと婚活を組み合わせた「ラン婚」を実施

継続 新婚世帯定住奨励金（結婚祝い金：5万円）の支給 【150万円】

(4) 地域文化・スポーツの振興 【3億400万円】

継続 地域の文化活動の促進 【1,313万円】

・町民が参加する芸術、文化等の活動団体へ助成をし、地域文化の醸成・継承を促進

新規 町歴史民俗資料館のリニューアル整備 【1億8,558万円】

・手狭となった展示スペースを改修するとともに、研修室を拡張し、来館者から好評を得ている体験学習を充実



拡充 スポーツ振興によるまちのにぎわい創出 【2,670万円】

・いびがわマラソン 2014 を開催し、全国から集う1万人超のランナー・応援者を町民一丸でおもてなし

・スポーツ交流フェスティバル（女子ソフトボール）、カヌー（ワイルドウォーター、スラローム）ジャパンカップを開催

新規 学校閉校記念誌を作成 【324万円】

・平成 25 年度限りで閉校となる、春日中学校、久瀬小学校、久瀬中学校の3校について閉校記念誌を作成、地域の歴史として後世に継承

○ 豊かな暮らしを支える生活基盤の充実 ～福祉・医療・産業等の充実～

(1) 福祉・医療の充実 【15億5,600万円】

拡充 新たな地域福祉計画の策定 【279万円】

継続 地域包括ケアシステムの充実 【3,084万円】

・医師や薬剤師にも参加いただく毎月の地域ケア会議での議論をもとに、高齢者のニーズに応じて「医療」「介護」「予防」「見守り等の生活支援」「住まい」といった各種サービスを適切に組み合わせて提供

新規 谷汲デイサービスセンターの充実 【663万円】

・谷汲デイサービスセンターのリフトバス（10人乗り）を更新
・老朽化している谷汲デイサービスセンターの建て替えを検討するための調査を実施



新規 揖斐郡北西部地域医療センター（久瀬診療所）の医療機器整備 【1,039万円】

・揖斐郡北西部地域医療センターにおいて、「超音波画像診断装置」「無散瞳眼底カメラ」を整備

継続 町民の各種検診・予防接種の推進 【7,419万円】

(2) 地域産業の振興 【3億3,500万円】

新規 美濃いび茶販売所の整備 【4,920万円】

- ・「美濃いび茶」の販売拠点として桂地区に直販所を整備、平成27年度からの開業を予定

新規 関西茶品評会出品に向けた品質向上を支援 【100万円】

- ・平成27年秋の関西茶業振興大会岐阜県大会が当町で開催されることを見据え、同大会に出品される「美濃いび茶」の品質向上の取組を支援

継続 地元商店、中小企業、勤労者への支援 【1,085万円】

- ・地元商店での購買促進のため、商工会が行うプレミアム付き商品券の発行等を支援
- ・地元中小企業に対し、中小企業融資資金（運転・設備）借りに伴う利子を補給
- ・東海労働金庫と連携した勤労者への貸し付け（融資枠：4,000万円）

継続 県森林文化アカデミーと連携した春日地域の特産品開発研究 【333万円】

継続 林地残材の搬出促進（間伐材搬出にかかる地域通貨券交付事業への支援） 【600万円】

継続 有害鳥獣の捕獲・被害防止 【5,720万円】



(3) 環境の保全 【13億5,200万円】

拡充 いびがわエコドームの充実 【942万円】

- ・いびがわエコドーム（資源持ち込み施設）の駐車場を舗装整備し、町民による資源ゴミの持ち込みを促進

新規 権現山での環境保全活動 【263万円】

- ・久瀬地区小津の権現山において、県の森林・環境税を活用し、登山道を改修

継続 一般家庭への再生可能エネルギーの普及促進 【680万円】

- ・住宅用太陽光発電システムの設置について、町単独で助成を実施（町補助：1kwあたり3万円、上限4kwまで）
- ・木質ペレットストーブ購入に対する助成を実施（補助率1/2、上限20万円）

拡充 水源地域ビジョンを踏まえた揖斐川の上下流域交流促進 【1,710万円】

- ・「生命の水と森の活動センター」を中心に、下流域の住民に水源地域の大切さや魅力を知ってもらう、体験型イベント等を実施（原生林学習会、自然環境調査ほか）

新規 「揖斐川町水道ビジョン（仮称）」の策定 【993万円】

- ・当町における今後の水道事業のあり方（施設整備、維持管理、料金体系）の指針となる計画を策定

拡充 汚水処理の推進 【12億774万円】

- ・小島地区の農業集落排水事業の推進、揖斐地区の公共下水道事業の推進、集合処理地域以外での合併処理浄化槽の整備促進



(4) 交通の確保 【2億1,000万円】

継続 養老鉄道、樽見鉄道の維持 【3,926万円】

- ・沿線市町と協調して、養老鉄道及び樽見鉄道の運行を支援

継続 コミュニティバスの運行 【1億6,933万円】

- ・揖斐川町コミュニティバスの運行により、町内交通ネットワークを確保
- ・「揖斐川町公共交通を守る会」と連携した持続可能な交通体系について検討



(5) その他、暮らしを支える基盤づくり

新規 社会保障・税番号制度導入関係経費 【848万円】

新規 固定資産評価替関連経費 【2,382万円】

新規 文書管理システム導入経費 【1,145万円】

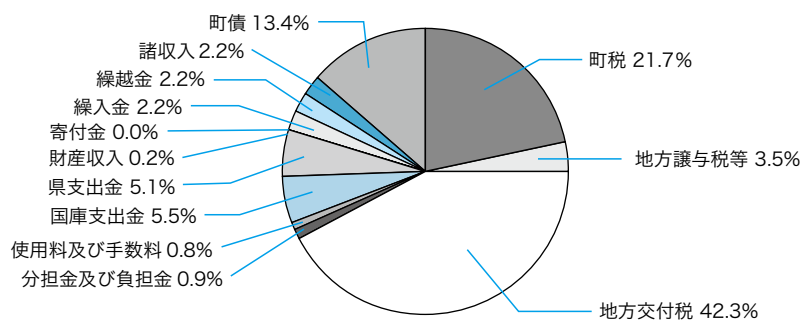
平成 26 年度 揖斐川町各会計当初予算

(単位：千円)

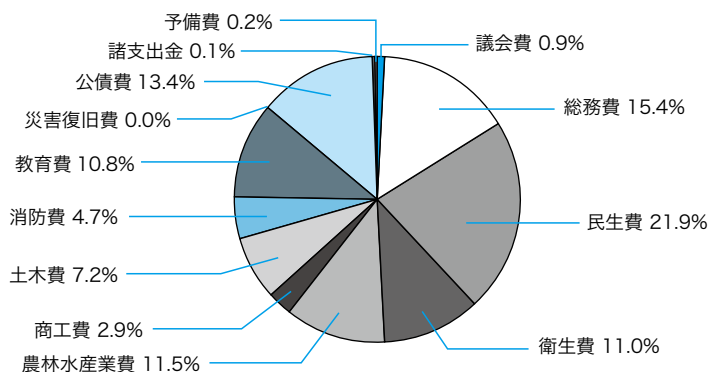
会 計 名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	比較 (A)-(B)	増減率 (%)
揖斐川町一般会計	13,700,000	13,480,000	220,000	1.6
揖斐川町国民健康保険特別会計	2,649,600	2,673,500	△ 23,900	△ 0.9
揖斐川町後期高齢者医療特別会計	309,300	300,400	8,900	3.0
揖斐川町国民健康保険直診勘定特別会計	114,700	112,500	2,200	2.0
揖斐川町谷汲中央診療所特別会計	70,800	71,500	△ 700	△ 1.0
揖斐川町大和簡易水道特別会計	58,200	28,600	29,600	103.5
揖斐川町脛永簡易水道特別会計	16,600	16,300	300	1.8
揖斐川町市場簡易水道特別会計	179,500	7,200	172,300	2,393.1
揖斐川町谷汲簡易水道特別会計	92,800	78,100	14,700	18.8
揖斐川町北部簡易水道特別会計	172,500	136,900	35,600	26.0
揖斐川町農業集落排水事業特別会計	1,493,700	1,264,000	229,700	18.2
揖斐川町公共下水道事業特別会計	518,600	931,500	△ 412,900	△ 44.3
揖斐川町個別排水事業特別会計	196,400	137,800	58,600	42.5
揖斐川町町営住宅事業特別会計	89,100	0	89,100	皆増
揖斐川町杉原地域土地取得等特別会計	2,800	4,700	△ 1,900	△ 40.4
揖斐川町徳山ダム上流域公有地化特別会計	508,400	514,700	△ 6,300	△ 1.2
揖斐川町地域情報特別会計	227,400	232,800	△ 5,400	△ 2.3
揖斐川町北方財産区特別会計	15,200	25,300	△ 10,100	△ 39.9
揖斐川町大和財産区特別会計	8,100	8,300	△ 200	△ 2.4
揖斐川町谷汲財産区特別会計	9,900	19,500	△ 9,600	△ 49.2
揖斐川町長瀬財産区特別会計	12,100	1,100	11,000	1,000.0
揖斐川町横蔵財産区特別会計	1,200	5,900	△ 4,700	△ 79.7
特別会計 合計	6,746,900	6,570,600	176,300	2.7
総合計	20,446,900	20,050,600	396,300	2.0

平成 26 年度 揖斐川町一般会計当初予算

歳入構成【予算総額 137億円】



目的別歳出構成【予算総額137億円】



【歳入】

(単位：千円)

区 分	平成26年度当初
町税	2,971,772
地方譲与税	168,000
利子割交付金	7,000
配当割交付金	5,000
株式等譲渡所得割交付金	1,000
地方消費税交付金	218,000
ゴルフ場利用税交付金	28,000
自動車取得税交付金	43,000
地方特例交付金	6,000
地方交付税	5,800,000
交通安全対策特別交付金	2,700
分担金及び負担金	122,062
使用料及び手数料	102,502
国庫支出金	748,218
県支出金	699,102
財産収入	31,882
寄付金	4,601
繰入金	295,406
繰越金	300,000
諸収入	304,555
町債	1,841,200
合 計	13,700,000

【目的別歳出】

(単位：千円)

区 分	平成26年度当初
議会費	122,552
総務費	2,114,961
民生費	2,999,629
衛生費	1,499,116
農林水産業費	1,577,104
商工費	402,438
土木費	987,855
消防費	642,216
教育費	1,484,423
災害復旧費	50
公債費	1,837,886
諸支出金	11,770
予備費	20,000
合 計	13,700,000